

文化小劇場

「磁気ループのPRを徹底します」

1月31日の公社対策特別委員会では、市長室、緑政土木局、市民経済局に関係する8つの外郭団体についてその財政状況や活動内容などが報告され、審議が行われました。

磁気ループなど活用状況は

田口一登議員は、名古屋市文化振興事業団の活動についてただし、文化小劇場などに設置されている磁気ループなどの集団補聴装置の活用状況を質問しました。

開館以来、利用されていない施設も

市内の文化小劇場13施設のうち11施設には難聴者のための磁気ループが設置されていますが、開館以来一度も使用されず、市民への周知もされていない施設が少なくありません。田口議員は、「昨年12月15日付けの市健康福祉局障害企画課長名の通知で、磁気ループの設置と活用を促している。どのように市民に周知するのか」と質問しました。文化振興事業団の文化振興部長は「施設の音響備品リストに掲載するとともに、主催者との打ち合わせの際に口頭でお伝えする。『耳マーク』などの館内掲示で来場者にもお知らせしたい」と答弁しました。

施設の積極的な活用と新規設置の要求を

田口議員は「使われないで埃をかぶっていた装置が、日の目を見る道を開いたと思います」と感想を語り、「難聴のみなさん、文化小劇場をご利用の際には、T

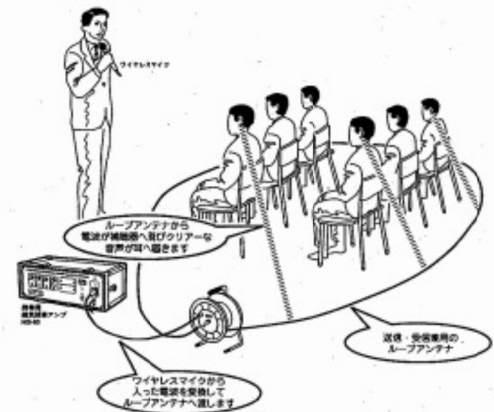
モード対応の補聴器を持参し、「磁気ループを使わせてください」と係員に申し出ましょう。中村区と南区の文化小劇場には設置されていないので、設置するよう求めましょう」とよびかけています。

名古屋市での集団補聴システム設置の施設（2011年11月）

システム	数	うちわけ
磁気ループ	19	区役所・支所（北、瑞穂、熱田、南、山田）、文化小劇場（千種、東、北、西、熱田、中川、港、守山、緑、名東、天白）、青少年文化センター、名古屋市総合福祉会館、科学館
赤外線	8	区役所（西、中）、中小企業振興会館、芸術創造センター、公会堂、福祉用具プラザ、高年大学鯉城学園、科学館
FM	1	すぎのご学園（購入 園児用）
計	27	（科学館は2種あり）

集団補聴システム＝マイクの音声等を直接補聴器へ伝え、雑音の少ないクリアな音声を聞くことができる装置

※補聴器はコイル付(♻️マーク)の補聴器をご使用ください。



2012年2月定例会の日程（予定）

月日	時間	内容	
2 / 20 (月)	11:00	本会議	開会・提案説明
2 / 24 (金)	10:00	本会議	予算以外の質疑
2 / 27 (月)	10:00	委員会	市民3分演説
2 / 28 ~ 3 / 1 (木)	10:30		予算以外の質疑
3 / 2 (金)	10:00	本会議	代表質問
3 / 5 (月) ~ 7 (水)	10:00	本会議	個人質問
3 / 8 (木) ~ 16 (金)	10:00	委員会	予算審議
3 / 19 (月)	13:00	委員会	予算の採決

市政懇談会

- ・2月8日(水) 午後6時半～
- ・名古屋都市センター 14階
第3・4会議室

2月定例会が2月20日から始まります。
新年度予算案も発表されます。
ぜひご意見をお寄せ下さい